



昭和46年度指定 高指第25号

(故)武蔵川 建三

【雅号】 貢山 こうざん

生年／大正3年 指定技術名／漆器・螺鈿



らでんいりききよく

螺鈿入り器局

青貝細工の第一人者で、特に、人物の表情や鳥の羽毛の細部を表現する針彫りの技法に優れている。針彫りは、厚さ0.1ミリに満たない薄貝に細かく線を描き、作品に豊かな情感を加えるもので、繊細な神経と熟練した技能を要する。また、貝の裏面に彩色を施すことにより装飾的な効果を高め、貝本来の神秘的な光沢と着色された貝とが変化に富んだ色調を生み出している。

平成元年作 素材・技法／木製、青貝（鮑） 寸法／高さ40cm×幅65cm×奥行25cm

〔表彰・受賞歴〕

昭和48年 社団法人日本漆工協会会長表彰
昭和51年 伝統的工芸品産業指定産地功労者褒賞
昭和54年 富山県功労表彰
昭和56年 卓越した技能者（現代の名工）表彰
昭和60年 勲六等青色桐葉章
昭和61年 高岡市市民功労者表彰
平成 9年 富山新聞社富山風雪賞

〔経歴〕

昭和 5年 父達雄に師事し螺鈿及び漆塗りを習得
昭和21年 復員後、徒弟養成に尽力し、後継者を育成
昭和47年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
平成元年 高岡巧美会会長